

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D5-17
		仕 様		STD
		適用号機		ZDA00001～
区 分	検 査 箇 所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2200
		ローアイドルリング	min ⁻¹	850
		トルコンストール状態 （冷却水温）	min ⁻¹ (℃)	1840±50 —
		（作動油温）	(℃)	—
		エンジン油圧	kgf/cm ² KPa (℃) (min ⁻¹)	3.2～ 315～ (通常運転) (最大回転)
	燃料装置	弁すき間		
		吸気弁 隙間	mm	0.26±0.05
		排気弁 隙間 （測定条件）	mm	0.33±0.05 (冷間時)
	冷却装置	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差 （冷却水温） （回転速度）	kgf/cm ² KPa (℃) (min ⁻¹)	3.6 350 (—) (—)
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ² KPa	設定なし (コモンレール)
		ファン駆動ベルトの張り	mm	設定なし
		〔測定位置・条件〕 〔kgとNの両方で表記〕	[N]	(自動張り調整)
	走行ミックス油圧システム	主クラッチ型	MPa	—
		ダイレクトシフト型	kg/cm ² KPa	—
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	kg/cm ² KPa
			ミッション潤滑油圧	kg/cm ² KPa
			クラッチ油圧	kg/cm ² KPa
		(ミッション油温)		(℃)
		(エンジン回転速度)		(min ⁻¹)
		プロベラーシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kg・m
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク	c m	—
		レバーの全ストローク	c m	—
	ステアリングクラッチ油圧		MPa	—
		(油 温)	kg/cm ² (℃)	—
		(回転速度)	(r p m)	—

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D5-17	
		仕様		STD	
		適用号機		ZDA00001~	
区分	検査箇所	検査項目（条件）		単位	検査基準値
走行装置	クローラベルト	ベルト	張り（たわみ量）	mm	—
			測定方法・条件 （図面番号表示）		
		鉄シユー	張り（たわみ量）	mm	図2参照
			測定方法・条件 （図面番号表示）		
			リンクピッチの伸び		
測定方法・条件 （図面番号表示）					
履板取付ボルト 締付けトルク	N・m kg・m	400±70 40.8±7.1			
			測定方法・条件		
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力	床面勾配 1/5以上	—	
作業装置	シリンダー 自然伸縮	ブル・ドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分	32mm/5分 地面から254mm
			ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分	13mm/5分 チルト左一杯
			リッパースリフトシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分	—
			リッパースャンクシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分	—
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分	—
			バケットシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	mm/分	
	（作動油温）			（℃）	38-49℃
	作業機速度	ブル・ドーザー	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	秒	2.7±0.2秒 地面～最大
			リッパシリンダ 作業装置姿勢 （図面番号表示）	秒	—
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）	秒	—
リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 （図面番号表示）			秒		
（作動油温）			（℃）	65 ± 5	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	kg/cm ² MPa	255±1 25.0±0.1	
		（作動油温）	（℃）	（38～65）	
備考					

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
図 1．履帯調整方法	1．車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2．バルブ・カバーを外す。（図は開けた状態） 3．トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 トラックを緩める場合、リリース・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリース・バルブ（2）を閉めてください。 5．バルブ・カバーを閉じる。 6．反対側の履帯に同様の作業を行う。